【 ∧ **S** B E E - 戸建(新築)

▮評価結果

CASBEE-戸建 (新築) 2018年版 CASBEE-DH NC 2018v1.0 ■使用評価マニュアル ■使用評価ソフト 1-2 ቃ 建物名称 Y様邸 仕様等の確定状況 建物の仕様 確定 竣工年日 2019年12月 予定 持ち込み家電等 仮 建設地 非公開 外構の仕様 仮 第一種低層住居専用地域 用涂地域 確定 〈備考〉 省エネルキ・一地域区分 6 地域 サステナブル先導事業 環境効率 最高ランクS LCCMS 構造·構法 木诰軸組工法 確定 つ星 階数 評価の実施日 仮 2019年7月2日 敷地面積 259 m² 作成者 竹割拳志 建築而積 100 m² 仮 2019年7月2日 延床面積 確認日 97 m² 仮 確認者 田中章三 世帯人数 2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート) 2-1 戸建の環境効率(BEEランク&チャー 2-3 大項目の評価(レ ダーチャ BEE =3.0 Q2 長く使い続け W W WW Q1 $S: \bigstar \star \star \star \star \star \star \ A: \star \star \star \star \star \ B^{*}: \star \star \star \star \ B^{-}: \star \star$ C: ~75%: ☆☆☆ ~100%: ☆☆ 100%超: ☆ Q3 戸建編進計算 室内環境を まちなみ・ BEE=1.0 □建設 □修繕・更新・解体 □居住 ■オンサイト □オフサイ 快適·健康· 牛熊系东 Βź ①参照値 安心にする 豊かにする 100% ②建築物の取組み 75% В ③上記+②以外の オンサイト手法 LR3 地球・地域・ LR1 エネルギ -18% 50 ④上記+ と水を大切に使う 周辺環境に -18% 配慮する -20 0 20 40 60 (kg-CO₂/年·m²) С 資源を大切に このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般 的な住宅(参照値)と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で LR2 0 100 ゴミを減らす 示したものです 環境負荷 L 2-4 中項目の評価(パーチャート) Q のスコア= Q1 室内環境を快適・健康・安心にする Q2 長く使い続ける Q3 まちなみ・生態系を豊かにする Q1のスコア=3.4 Q3のスコア= 3.4 Q2のスコア= 4.0 5.0 5.0 4 4.0 4.0 3.8 3 2 1.0 1 まちなみ・景観 生物環境の 地域の資源の活印 長寿命に対する 基本性能 暑さ・寒さ 健康と安全・安心 地域の 明るさ 静かさ 維持管理 機能性 と住文化の継承 安全・安心 保全と創む LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギーと水を大切に使う LR2 資源を大切に使いゴミを減らす LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する LR1のスコア= 4.7 LR2のスコア= 4.6 LR3のスコア= 2.8 5.0 4.5 4.4 2 2 2 2.0 省資源、廃棄物抑制 生産・施工段階に に役立つ材料の採用 おける廃棄物削減 地域環境へ 周辺環境へ 地球温暖化 総合的な 水の節約 維持管理と運用の工夫 リサイクルの 促進 への配慮 の配慮 の配慮 3 設計上の配慮事項 。 | 長期にわたり健康で安全で省エネルギーな居住に供し、LCCO2がマイナスとなることを目指す住宅で、ZEHの上位概念となライフ サイクルカーボンマイナス住宅(Life Cycle Carbon Minus)です。 Q1 室内環境を快適・健康・安心にする 断熱性能をランクアップ外皮平均熱貫流率以上とし、IoT機器を 導入して快適な温熱環境を維持することで、健康に暮らせる住 宅です。 Q2 長く使い続ける 長期優良住宅で、維持管理体制においては、長期優良住宅の 維持保全内容にプラスアフアした。成様・アフターサービスを 行っいます。長期優良住宅に基づく住宅履歴登録、保存・管理も 行っており、不具合が生じた時の追跡調査も可能です。 Q3 まちなみ・生態系を豊かにする 構造躯体・内外装材に、地域材の資源を活用し、住文化の継承につとめています。 1R2 資源を大切に使いゴミを減らす 省資源・廃棄物抑制として、構造材には、持続可能な森林から 産出された木材を使用し、・外装材・内装材には、再生可能材料 を積極的に使用している。廃棄物削減への取組みとして、構造 材のブレカット加工、広域再生利用指定制度を取得したメーカー の材料を積極的に使用しています。 LR1 エネルギーと水を大切に使う 暖冷房設備・換気設備・総湯設備、照明設備を各物件ごとに適 切に組み合わせ側エ本設備を含めず名エネ率30%を以上とし 太陽光に依存しすぎないLCCM住宅です。LCC02 6項目につい ては、特段の配慮をしています。また、HEMSを設置し消費エネ ルギーの確認のしやすさに配慮しています。 LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する 評価していない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)